

第3次産業の発展

- 3. 日本の新しい商業形態と消費行動
 - i. 従来の消費行動は①**最寄り品**と②**買い回り品**とに分けられていた。
 - ii. マイカーの普及＝③**モータリゼーション**により、郊外に広い駐車場をもつ大型ショッピングセンター（※関東の大型店舗の例参照）の利用が一般化
（→その結果、中心市街地の「商店街」が衰退）
 - iii. 幹線道路沿いにロードサイドショップが多くみられる。
（特徴：看板が大きい、駐車場が広い、チェーン店）
チェーン店はPOSシステムを利用。Point of Sales

例1：コンビニで会計をする際に、店員が客の見た目を判断し、レジ打ち時に性別と年代が書かれた「客層ボタン」を押す
→曜日、時間帯、天候、性別、年代、どんな商品を購入したか（どれとどれを同時に購入しているか）といった情報が一元化され、チェーン本部に送信される
→各店舗から送られるビッグデータを分析して、商品開発などの販売促進（「マーケティング」）に活用する

例2：ポイントカードを利用した場合は、特定の個人（ポイントカード利用者）の購入・来店履歴を追跡できる
→季節ごとの嗜好の変化などを読み取ることが可能

- iv. 宅配便の普及による通信販売の出現、インターネットを利用した販売も普及した。

世界の交通網

- 1. 航空交通
 - 長距離路線の集中する空港＝⑤**ハブ空港**。
 - ⑤**ハブ空港**となると人の乗り換え・モノの載せ換えが発生するため高い経済効果が望める→ハブ空港化が望まれる
かつて東アジアのハブ空港の地位は成田だったが、現在は韓国の仁川(インチョン)空港の優位性が高い。海上にあり24時間運用でき、航空会社から徴収する飛行機着陸料金が安い。便数が多い。
※アメリカは航空機の旅客輸送量は日本より多い（自動車も）。
鉄道はアメリカでは貨物輸送が多い。日本では旅客輸送が多い。
- 3. 水上交通
 - ⑥**便宜置籍船**。 港湾別貿易額は資料集 p.195⑥参照。

←モータリゼーション
No.058 右下表「都道府県別100世帯当たり乗用車保有台数の変化」について考察する。
なぜ1965年は47位がないのかも考えてみよう。
←ショッピングセンターの進出がもたらしたものについて、参考となる書籍の例。
『ファスト風土化する日本』
『脱ファスト風土化宣言』
(共に三浦展著。洋泉社新書y)

←Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピングなど。

←ハブ=hub。車輪の軸。
航空路線をスポークに見立てている。

一例：鹿児島から渡米する場合
鹿児島→成田→アメリカ
現在)鹿児島→仁川→アメリカ

情報と通信

- 2. 情報化社会の問題点
 - ① (教科書 p.161 L21 参照)
世論形成や個性の喪失(SNS炎上や個人特定、災害時のデマなど)

私たちの生活を支える貿易

- 2. 現代世界の貿易の現状と課題
 - ② (教科書 p.163 用語解説参照)
 - ③ (教科書 p.163 用語解説参照)
 - ④**自由貿易**
 - ⑤**自由貿易協定 (FTA)** Free Trade Agreement

澤岡より、2年次になる浦高生へのラストメッセージ

- ①親離れしよう。親にも子離れさせよう。
自ら意思決定して生きていかなければならない時期がくる。
付き添いなしで行動できるように。浦高は〇〇校なので身回りのこと（身支度、外出）は自力で行いましょう。
- ②群れてはいけない。
一人のできることは、一人でさっさと済ませよう。
浦高生が「トイレ一緒に行こう」「ねえーももき一緒に行こー」と言っているのを聞くと悲しくなります。
これまでの人生で、群れたがる人たちに「この人は優秀だな、尊敬できるな」と思える人を見出した経験はありません。
本当に優秀な人は徒党を組んだりはいしないのです。
普段から仲悪くしろと言っているわけではありません。浦高の友人は一生の友人です。でも、いちいち群れてはいけません。
∴③かけられるべき褒め言葉は、
「みんなやってるよ」
「さすが、浦高生はやるのが違う」

また、いつか、どこかでお会いしましょう。